

放課後等デイサービス・支援プログラム

法人（事業所） 理念		発達に遅れや偏りのある子どもたちが、家族や地域とのつながりの中で、「楽しく学び、楽しく過ごす」ことを目指す。		
支援方針		■子ども一人ひとりに合わせた課題を提供し、楽しく活動できる環境を作る。 ■職員全員がチームとなり、療育を行う。 ■家、学校以外の居場所として安心して過ごせる場所を作る。		
営業時間		月曜日～金曜日 放課後～17：30 土曜日・学校休業日 9：00～16：00	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	■心身の健康の把握のため定期的な健康チェックを行い、状態を把握する ■健康的な生活リズム（睡眠、食事、排泄）を身につけるアドバイス（維持・改善） ■衣服の着脱、排泄、食事など基本的な日常生活動作及び手段的日常生活動作の獲得 ■危機認知スキルの向上（SST など） ■食育（おやつ作り）		
	運動・感覚	■食事や活動時などの日常生活の中での姿勢保持の安定 ■上肢、下肢の運動や動作の獲得や筋力維持、強化を図る ■感覚の偏りや過敏、鈍麻に対して感覚統合を取り入れた活動を行う ■リズム遊び、感覚教材、散歩、季節の制作、様々な道具を使って活動する ■トランポリン、サーキット、ビジョントレーニング等を個別・集団で行う		
	認知・行動	■視覚、聴覚、触覚、味覚などいろいろな感覚を刺激しながら認知機能の発達を促す ■学校等の提出課題把握 ■形や色、大きさなどの概念を理解できるように支援する ■習得した認知を発揮できる機会、場所を提供する ■こだわりや偏食に対しての支援を行う		
	言語 コミュニケーション	■挨拶や場面に合った言葉遣い、他者とのコミュニケーション能力の獲得 ■読み書きに対する学習支援 ■コミュニケーション手段の活用（SST・発表する機会・担当） ■話し言葉や文字や記号、ジェスチャー等を通して思いが伝えられるように支援する ■SST 等を通して、やり取りや相手の気持ちを汲み取る訓練をする		
	人間関係 社会性	■小集団や全体での活動を（遊びやゲーム）を通して人との関わり方や接し方を学ぶ ■ルール遊びや協同遊び等を通して社会性や対人関係を築けるように支援する ■社会体験や地域交流の場を設ける ■調理実習や軽作業等を通して、将来への自立や就労へつながるように支援する ■自己理解や他者理解への支援（SST・社会体験・個別課題）		
家族支援		■利用後の申し送りや保護者面談で発達状況や支援のニーズの把握をする ■利用者との関わり、きょうだい児、介護に関すること等、様々な不安や困りに寄り添い、相談や助言を行う ■利用することにより、保護者の就労やレスパイト等のニーズに応える ■保護者同士の交流の機会の提供		
移行支援		■利用者や家族への進路情報提供や進路先への調整、相談援助、連携		
地域支援 地域連携		■相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携 ■学校の担任や併用利用先の事業所との情報共有		
職員の質の向上		■定期的な研修の実施、参加 ■職員の各種研修や勉強会への参加 ■通所事業所連絡会への参加		
主な行事等		■季節の行事 （お花見・遠足・水遊び・すいか割り・夏祭り・ハロウィン・クリスマス・初詣・節分・ひなまつり） ■制作活動・レクリエーションの実施 ■クッキング ■外出		